

光と風の輪

第46号

平成29年7月10日発行

光：生きがい、歓喜 風：力 輪：仲間、連帯



第14回 長崎県ねんりんピック・生きがい作品展

【長崎県老人クラブ連合会長賞】

「^{れきじつ}暦日」

新堂 史子（長崎市）

も く じ

- ◆平成29年度事業計画 1
- ◆平成29年度収支予算 2
- ◆平成29年度役員・評議員 2
- ◆平成29年度長崎県高齢者施策について 3
- ◆女性部会・若手委員会開催 4
- ◆平成29年度市町老連会長研修会 5
- ◆「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」
に参加して 6
- ◆「健康づくり中央セミナー」に参加して 7,8
- ◆市町老連等別クラブ数・会員数 8
- ◆第12回銀の翼に参加して
『八重山3島めぐりと那覇』 9
- ◆老人クラブ傷害・賠償保険 10
- ◆指定宿泊施設一覧 11
- ◆編集雑感 11

☆のぼそう！ 健康寿命、担おう！ 地域づくりを

事業の
重点課題

- ① 会員増強運動の推進
- ② 若手会員の組織化と女性会員の登用
- ③ 介護予防（健康づくり）と生活支援

平成29年3月17日に行われた評議員会及び、3月9日に行われた理事会において、平成29年度の長崎県老人クラブ連合会の事業計画が協議決定されました。

7月からの主な行事は次のとおりです。

平成29年度 県老連の主な行事

開催日	行 事	場 所
7月 6(木)～7(金) 14(金) 19(水) 20(木) 26(水)	九州ブロック老人クラブリーダー研修会 高齢者相互支援事業研修会 高齢者相互支援事業研修会 市町老連事務局長・事務担当者会議 高齢者相互支援事業研修会	佐賀県（グランデはがくれ） 対馬市 平戸市 長崎市（県総合福祉センター） 島原市
8月 8(火)～9(水) 30(水)～31(木)	都道府県・指定都市老連中央セミナー 市町老連若手リーダー研修会	東京都 長崎市（Alega軍艦島）
9月 5(火)～6(水) 9(土)～12(火) 15(金)～21(木) 22(金) 27(水)	市町老連女性リーダー研修会 第30回全国健康福祉祭あきた大会 〔地域文化伝承館 9(土)～11(月)〕 老人週間（15日老人の日、20日社会奉仕の日） 健康づくりリーダー養成講習会 健康づくりリーダー養成講習会	島原市（南風楼） 秋田県 老人クラブによる一斉奉仕活動 大村市 雲仙市
10月 2(月) 4(水) 7(土) 18(水)～19(木)	健康づくりリーダー養成講習会 県老連理事会・表彰選考委員会 健康づくりリーダー養成講習会 第46回全国老人クラブ大会	川棚町 長崎市（県総合福祉センター） 新上五島町 京都府
11月 16(木)～17(金) 21(火)	全老連女性リーダーセミナー 第52回長崎県老人クラブ大会	東京都（全社協会議室） 諫早市（諫早文化会館）
平成30年 1月 31(水)～2/1(木)	在宅福祉を支える友愛活動セミナー	東京都（全社協会議室）
2月 未 定 21(水)～23(金)	第13回「銀の翼」 第15期 健康づくり中央セミナー	未 定 神奈川県（ロフォス湘南）
3月 8(木) 16(金)	県老連理事会 県老連評議員会	長崎市（県総合福祉センター） 長崎市（県総合福祉センター）

平成29年度 収支予算（損益方式）

科 目	予算額	摘 要	科 目	予算額	摘 要
I. 一般正味財産増減の部			2. 経常外増減の部		
1. 経常増減の部			(1) 経常外収益	0	
(1) 経常収益	19,826		(2) 経常外費用	0	
基本財産運用益	66		当期経常外増減額	0	
受取会費	7,148	会 費 7,072 賛助会員会費 76	当期一般正味財産増減額	△ 4,160	
事業収益	3,130	会員章普及 30 指定宿泊施設 2,400 傷害保険普及 700	一般正味財産期首残高	9,000	
受取補助金等	9,312	県補助金 8,872 民間助成金 440	一般正味財産期末残高	4,840	
雑収益	170		II. 指定正味財産増減の部		
(2) 経常費用	23,986		当期指定正味財産増減額	0	
事業費	16,852	各種事業の実地	指定正味財産期首残高	106,000	
管理費	7,134	法人の管理運営	指定正味財産期末残高	106,000	
当期経常増減額	△ 4,160		III. 正味財産期末残高	110,840	

平成29年度役員・評議員

任期満了に伴う選任により次の体制となりました。

《役員》

会 長

島中 英安（大村市老連）

副会長

金富 竹志（長崎市老連）

寺田 道子（県老連女性部会）

常務理事

本田 哲朗（長崎県老連）

理事

荒木 千鶴（島原市老連）新

坂本 康幸（佐世保市老連）新

峯脇 達郎（五島市老連）

近藤 正治（県老連若手委員会）新

小村 利之（県長寿社会課）

藤原 敬一（県社会福祉協議会）

監 事

畑中 正広（諫早市老連）

山口 純夫（長与町老連）

《評議員》

佐々木光健（長崎市老連）

金子 健夫（佐世保市老連）

村田 考市（島原市老連）新

大塚 梓（諫早市老連）新

山口 鷹士（大村市老連）

田淵 俊雄（平戸市老連）

永淵 勝幸（松浦市老連）

齋藤 義人（対馬市老連）

山本 義人（壱岐市老連）

井上 徹（五島市老連）新

池田 政治（西海市老連）新

脊川 亀史（雲仙市老連）

相良 綱信（南島原市老連）新

内田 政信（長与町老連）

黒田 博（時津町シニア連）

佐藤 昇一（東彼杵町老連）

新里 芳則（川棚町老連）新

小林 正男（波佐見町老連）

近藤 一輝（小値賀町老連）

永石 善吾（佐々町老連）

道下 三昌（新上五島町老連）

井上 義啓（県老連若手委員会）新

道下 敦（県老連女性部会）

佐藤 雅秋（県すこやか長寿財団）

平成29年度の長崎県
高齢者施策について
長崎県福祉保健部 長寿社会課

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、それぞれのクラブにおいて、生きがい高め、健康づくりを進める活動の推進や、ボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動にご尽力いただいております。ことに対し、感謝申し上げます。

また、昨年十月に開催されました第二十九回全国健康福祉祭「ねりんピック長崎二〇一六」では、全国から五十五万人を超える方々に参加いただき、大盛況のうちに終えることができました。大会前の事前準備から、大会期間中の地域文化伝承館での伝承活動の実演や披露を始め、ボランティア活動などご協力いただいたことに改めて感謝申し上げます。

さて、本県では全国より早いペースで高齢化が進行している状況となっております。そのような中、県においては、高齢者の方々

が「自らの知識・技能を活かして、生き生きと活躍できる社会」、また、「住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」を目指して、様々な施策を進めてまいります。

これらの施策の中から、特に老人クラブ活動に関わりの深い、生きがい対策と在宅福祉対策について、平成二十九年度の主な事業と予算額をご紹介します。

1. 生きがい対策

県老人クラブ連合会、県すこやか長寿財団及び市町との密接な連携のもと、地域社会への積極的な参加や、スポーツ・文化活動などを通じた生きがいと健康づくりに向けた諸施策を推進してまいります。主な計上事業は、次のとおりです。

① 老人クラブが行う各種の活動、市町老人クラブ連合会や県老人クラブ連合会が行う活動促進への取組や県老人クラブ大会開催等への助成

6,718万円
② 老人クラブが研修のための旅行に要した経費への助成

300万円

③ 高齢者の社会活動の普及・啓発、県ねりんピックなどスポーツ大会の開催、すこやか長寿大学の運営への助成

5,399万円

2. 在宅福祉対策

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために必要な地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防を一層推進するとともに、生活支援サービスの充実を図るため、市町が実施する地域支援事業を支援してまいります。また、認知症疾患医療センターの整備や医療従事者向けの研修の実施など、増加する認知症高齢者対策の充実を図るほか、在宅医療・介護の連携を推進していくこととしています。主な計上事業は、次のとおりです。

① 地域支援事業交付金等

9億7,847万円

② 介護実習・普及センター運営事業

1,828万円

③ 認知症施策等総合支援事業

2,454万円

④ 在宅医療・介護連携強化事業

966万円

⑤ 日常生活自立支援事業

7,938万円

⑥ 多重的見守りネットワーク総合対策事業

117万円

このほか、生きがい対策として、県が事務局となり県老人クラブ連合会など関係団体からなる協議会を設置主体として、高齢者の方々が就業から社会参加まで幅広く気軽に相談できる窓口として、「ながさき生涯現役応援センター」を去る3月、長崎市に開設しました。

また、在宅福祉対策の多重的見守りネットワーク総合対策事業では、見守りが必要とする方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、行政、関係機関・団体、民間事業者、住民が連携した見守り推進するため、「長崎県見守りネットワーク推進協議会」を6月に設立しました。

県におきましては、今後とも市町及び関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者施策を総合的に展開してまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

女性部会開催

●平成29年5月19日（金）

●県総合福祉センター

任期満了に伴い役員改選が行われ、部会長には南島原市老連の寺田さんが、副部会長に新上五島町老連の道下さんがそれぞれ再任され、時津町老連の中山さんが新たに副部会長に選出されました。

事務局から平成29年度県老連事業計画の説明のあと、平成29年度市町老連女性リーダー研修会（9月5日～6日）における企画及び運営についての協議を行いました。



平成29年度女性部会

部会長

寺田 道子（南島原市老連）

副部会長

道下 敦（新上五島町老連）
中山 明美（時津町シニア連）

部会員

瀧口 京子（長崎市老連） 新
森 和子（佐世保市老連） 新
秋井 銀子（島原市老連） 新
大淵 公子（諫早市老連） 新
野口喜美子（大村市老連）
藤島八重子（平戸市老連） 新
瀬川 洋子（松浦市老連）
江嶋 慶子（対馬市老連）
井戸川哲子（壱岐市老連）
戸川 昭代（五島市老連） 新
高富 フミ（西海市老連） 新
三原 龍子（雲仙市老連）
井手 則子（長与町老連）
田崎 光代（東彼杵町老連）
脇崎ケイ子（川棚町老連） 新
廣田 周子（波佐見町老連） 新
松尾 紀子（小値賀町老連）
馬場マチ子（佐々町老連）

若手委員会開催

●平成29年5月26日（金）

●県総合福祉センター

任期満了に伴い役員改選が行われ、委員長に南島原市老連の近藤さん、副委員長に長与町老連の井上さんと対馬市老連の青木さんが新たに選出されました。

事務局から平成29年度県老連事業計画及び会員増強運動についての説明のあと、平成29年度市町老連若手リーダー研修会（8月30日～8月31日）における企画及び運営についての協議を行いました。



平成29年度若手委員会

委員長

近藤 正治（南島原市老連）

副委員長

井上 義啓（長与町老連） 新
青木 掉磨（対馬市老連）

委員

加納 省司（長崎市老連）
柴田 宇鷹（島原市老連） 新
前田 満（諫早市老連） 新
野口喜美子（大村市老連） 新
北村 誠一（平戸市老連）
白川洋一朗（壱岐市老連）
上河 恵賜（五島市老連）
中村 俊子（西海市老連） 新
富永 孝司（雲仙市老連）
角 好秋（時津町シニア連） 新
川原 悟（東彼杵町老連）
松尾 雄二（川棚町老連） 新
安永 勝信（波佐見町老連） 新
田村 清實（小値賀町老連） 新
濱口淳一郎（佐々町老連） 新
荒木 宏匡（新上五島町老連）

平成29年度

市町老連会長研修会

●平成29年6月22日～23日

●あぐりの丘 高原ホテル

(長崎市)

研修会は県老連評議員会の終了後、市町老連会長及び関係者59名が参加して開催されました。

《1日目》

県老連 島中会長の開催挨拶の後、行政説明がありました。



【行政説明】

長崎県長寿社会課 山口参事と 李尾係長より、高齢者施策及び老人クラブ関係補助金並びに長崎県老人クラブ研修費補助金等について説明がありました。

【事務局説明】

県老連事務局長より「長崎県老人クラブ会員数とクラブ数の推移」及び平成29年度の主な行事、老人クラブ傷害賠償保険等の説明がありました。

【分散会（グループ協議）

テーマ

「会員増強について」等

県老連事務局長より分散会及び全体会の進め方の説明があり、その後、10グループに分かれ、協議・意見交換を行いました。

《協議・意見交換の主な内容》

- ◆会員増が成功した事例
- ◆会長等役員や会員の士気
- ◆解散クラブ等への対応
- ◆地域へクラブ活動の周知方法
- ◆4年目の取組みの活動目標

《2日目》

【いきいきクラブ体操】

【参加報告】

波佐見町老連 小林会長より第34回老人クラブ中央セミナー参加の報告がありました。

【全体会（分散会報告・討議）

- ・体験入会（会費未徴収）を進めその後の加入促進に結びついた。
- ・会長（役員）は次期会長の見通しがつくまで責任を持つ意識が必要。
- ・老人会の動く姿を地域に見せることが必要。
- ・勧誘には役員が行くより親しい人が良いのでは。

- ・表彰制度の活用

【講話】

高松昭三鹿島市老連会長より「老人会馬鹿に徹しよう」と題して講話がありました。

講話では、84歳で単位クラブの会長に就任した経緯や会員増強運動への取組み、ユニークな活動内容などユーモアを交えてお話いただきました。

特に「80歳を超えると親兄弟や親しい友人が他界していく中、老人会に参加した途端に仲間が増えた。今、入会が遅かったと後悔している。」との話が印象的でした。



「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」に参加して



長崎県若手委員長

中野 勝利（筆者）



大村市老連副会長

前田 満行

平成29年2月15日・16日、東京で開催されました。全国から118名、県老連から2名が参加。その内容を簡単に紹介します。

1、「セミナーの目的」

自治体（市町村）が進める「新地域支援事業」（介護予防・日常生活支援総合事業）に、老人クラブが友愛活動を通じてどのように参加していくのかについての研究と協議

2、「基調報告」

在宅生活を支えるために

今までの活動経験を活かした「新地域支援事業」への参画に向けた行動提案及び高齢消費者被害防止キャンペーンと「100万人会員増強運動」推進という全国運動の説明と確認。

3、「新地域支援事業」の活動事例報告

例報告

①徳島県鳴門市老連

「いきいきサロン」

②北海道池田町老連

日常生活『LOREN支え合い

パートナー事業』の取組の紹介。

★行政からの強力な支援と連携体制づくりが最大のポイントになります！

4、「講演」

昭和女子大学教授

北村 佳子 氏

老人クラブが「新地域支援事業」に取り組む場合は、老人クラブの強みを活かして、①簡単なできること（今行っていること）からスタート②他の先進事例や情報等の参照と研究③地域貢献や活動発信④他団体との交流によるクラブ活動の活性化と地域づくり等が重要であり、自分たちの活動から、地域の活動へ広げることの必要性を強調しました。

5、「行政報告」

厚生労働省老健局振興課

介護保険制度をめぐる施策の動向や「新地域支援事業」の説明。特に老人クラブにはできる範囲での介護予防・生活支援活動（住民主体の支援）への期待が表明されました。

6、「情報交換」分散会と全体会

仙台市・神奈川県真鶴町・京都市・和歌山県美浜町老連の参加者と情報交換したが、「新地域支援事業」の実践的な取組が進んでいない印象を受けました。

「新地域支援事業」に対する老人クラブの全国友愛活動として、全体的に①声かけ・見守り・安否確認②友愛訪問③集いの場・サロン④話し相手⑤生活支援⑥配食等



この機関誌は共同募金の配分金により発行しました。

の順で多いようです。「新地域支援事業」の取組には行政の姿勢が大きく左右すると痛感しました。また大村市老連の前田さんから、老人クラブが関わっている大村市介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）として「地域ふれあい館」協議会の設立経緯や運営内容・方法等の報告がありました。

★セミナーに参加しての感想

「新地域支援事業」の取組には地域差があり、全国的にもあまり進んでいない市町村老連が多いように感じました。長崎県老連としても実態調査や情報交換をして対策を講じなければならぬようです。



佐世保市老連

野村 善満 (筆者)



新上五島町老連

峯 昭市

平成29年2月22日(水)～24日(金)

神奈川県葉山町中央福祉学院「ロフォス湘南」で全国から60名の参加で開催されました。長崎県から新上五島町老連の峯 昭市様と2名参加しました。

今回の健康づくり中央セミナー『地域に健康づくり・介護予防の輪を広げよう!』について講座内容を紹介しま

《1日目》

1、基礎講座

「介護予防と老人クラブ」

講師 国際医療福祉大学大学院

竹内 孝仁 教授

『老人クラブに期待される

3つの役割』

第1の役割 自分が寝たきり・認知

症にならない。

第2の役割 老人クラブの仲間を寝たきり・認知症にしない。

「脱落者防止」

第3の役割 地域の高齢者(非会員)

を寝たきり・認知症にしない。

◆認知症にならないため特に体調管理に気をつける。

一日1500mlの水分、1500カロリーの栄養をとる。

便秘解消・30分の散歩・運動をする。

(水・メシ・クソ・運動)が体調をよくすることで、認知症予防と認知症の回復等の効果がある。

2、専門講座「医療」

「上手な医療の受け方」

講師 日本医師会

今村 聡 副会長

① 日本の医療の特徴

② かかりつけの医師とは

③ 病気との上手な付き合い方

④ 地域包括ケアシステム

日本の医療は、国民皆保険、フリーアクセスが特徴であり、原則として、国民全員が何かしらの公的な医療保険

に加入している。又、誰でも必要な時に、医療を受けることが出来る。

3、交流会

交流会は、6名10グループに分かれ、

それぞれが所属しているクラブ等の「健康づくり活動」について情報交換をしました。

《2日目》

1、専門講座「運動」

「高齢期の運動による

健康づくり・介護予防」

講師 順天堂大学

武井 正子 名誉教授

運動器の機能低下によって、要介護になるリスクが高いので日常的に体を動かすこと、抗重力筋を維持すること。講義の後は、実技で実際に体を動か

し筋肉の動き等を確認し、「いきいきクラブ体操」効果(転倒予防、体力維持、ストレス解消)を実践した。

2、専門講座「薬」

「薬品の正しい知識と使い方」

講師 日本薬剤師会一般用

医薬品等委員会委員

慶應義塾大学

福島 紀子 名誉教授

薬は情報のかたまり、使い方を誤れば、良い薬も悪い薬になる。わからないければ、医師、薬剤師に聞くことが大切。かかりつけ薬局・薬剤師をもつ。

又、薬の管理や保管には注意する。複数の病院に受診しているときは「お薬手帳」を提示する事が大事である。

3、専門講座「歯・口腔」

「歯・口腔の健康管理について」

講師 日本歯科医師会
地域保健委員会
ワーキングメンバー

細野 純氏

高齢者の多くが筋力や心身の活動が低下した状態『フレイル』という中間的な段階を経て、徐々に要介護状態に陥ると考えられている。日頃から「かかりつけの歯科医」をもち、定期的な歯や口腔機能の診察を受け、問題があれば早期に歯科治療を行う。

4、専門講座「事故防止」

「高齢者に多い事故とその予防」

講師 東京消防庁防災部

防災安全課生活安全担当

藤崎 進穂 係長

高齢者の8割が転ぶ事故であり、事故の発生場所も5割以上が室内の事故である。又、自宅のお風呂で「おぼれる」事故も多発しています。食事中の「窒息・誤飲」、熱中症、火災なども高齢者の事故に多く、日常生活において事故や火災から身を守る対策が必要である。

5、グループ学習

グループ学習では、各地域、所属しているクラブ等の「健康づくり活動」について報告・情報交換を行いました。

市町老連等別老人クラブ・会員数の状況

平成29年4月1日現在

市町名	単位クラブ数		クラブ数増減			会員数			1クラブあたり 会員数	H28.10.1現在 60歳以上人口	加入率 %
	28年	29年	増加	減少	差引	28年	29年	増減			
長崎市	314	292	1	△23	△22	17,070	15,669	△1,401	54	158,191	9.9
佐世保市	250	235	1	△16	△15	13,995	13,304	△691	57	93,528	14.2
島原市	73	73			0	3,222	3,115	△107	43	18,558	16.8
諫早市	122	121	1	△2	△1	8,167	7,998	△169	66	48,861	16.4
大村市	66	64		△2	△2	3,563	3,449	△114	54	28,271	12.2
平戸市	62	57		△5	△5	3,153	2,885	△268	51	14,795	19.5
松浦市	35	34		△1	△1	1,577	1,611	34	47	9,880	16.3
対馬市	102	101	3	△4	△1	3,651	3,507	△144	35	13,541	25.9
壱岐市	93	93	1	△1	0	6,112	5,952	△160	64	11,811	50.4
五島市	96	96			0	4,436	4,375	△61	46	17,242	25.4
西海市	79	78	1	△2	△1	4,346	4,278	△68	55	12,317	34.7
雲仙市	103	101	1	△3	△2	4,486	4,327	△159	43	17,993	24.0
南島原市	169	164	1	△6	△5	7,344	6,977	△367	43	20,938	33.3
長与町	32	32	1	△1	0	1,685	1,632	△53	51	13,188	12.4
時津町	18	18			0	1,250	1,223	△27	68	9,110	13.4
東彼杵町	21	21			0	1,851	1,859	8	89	3,607	51.5
川棚町	27	28	1		1	1,566	1,564	△2	56	5,286	29.6
波佐見町	22	22			0	2,615	2,563	△52	117	5,540	46.3
小値賀町	20	20			0	1,132	1,107	△25	55	1,447	76.5
佐々町	8	7		△1	△1	425	382	△43	55	4,652	8.2
新上五島町	56	55		△1	△1	2,710	2,701	△9	49	9,258	29.2
県計	1,768	1,712	12	△68	△56	94,356	90,478	△3,878	53	518,014	17.5

注) 平成28年分は28年6月1日現在

$$\text{加入率} = \frac{\text{H29. 4. 1 会員数}}{\text{H28. 10. 1 60歳以上人口}} \times 100$$

《2日目》

1、専門講座「栄養」「高齢期の食生活のあり方」

講師 日本栄養士会

迫 和子 専務理事

体の機能を維持するうえで、まず、必要なのは、エネルギーとタンパク質。どちらが不足しても、体力も免疫力も落ちてしまいます。高齢者が元気に動ける骨格筋を保つには、良質のタンパク質を十分に摂ることが必要です。体型はやせ形より小太り型が良い。

2、まとめ

「健康づくり推進員に期待する」

講師 全国老人クラブ連合会

齊藤 秀樹 常務理事

都道府県・指定都市老連がすすめる健康づくり事業への支援・協力、老人クラブでの健康学習・実践の推進役等。

◆今回のセミナーに参加し改めて健康の大切さ、各地域クラブでの健康づくり活動について情報交換し大変勉強になりました。今回の講座で学んだ知識を今後の活動に生かして行きたいと思えます。
有難うございました。

第12回 銀の翼

平成29年2月19日～21日

八重山三島めぐりと 那覇(守礼の門、首里城)

諫早市老人クラブ連合会

小野由利子

二月十九日朝、老連らしく無理の無い、ゆつくりめの集合時間に諫早からの参加者五名は、これからの旅の楽しみに心弾ませ長崎(大村)空港へと向かいました。

長崎空港で皆様と落ち合い一路沖繩・那覇空港へと飛び立ち離陸して水平飛行になった途端、添乗員さんから頂いた昼食のお弁当を皆様と頂きました。約一時間四十分位のフライトで那覇空港へ到着。そこから乗り換えて石垣空港へ。

夕刻四時に石垣空港へ到着後、お迎えの貸切バスに乗り込み石垣市の観音崎にある唐人墓へ。

ここは、アメリカ奴隷貿易船ロバートバウン号事件で、犠牲になった中国人苦力の慰霊の為、昭和四十六年に建立されたもので、悲しみの碑では有りますが、中国らしい色鮮やかな色彩の唐人墓でした。墓所内には『マンタ』の石造があり、対岸には竹富島が見えました。

ホテルへ向かう途中、バスの中でガイドさんが三線で石垣島出身の夏川りみさんの『涙そうそう』を唄って下さり、狭い島ですので、りみちゃんはお友達だと話されていました。六時にホテル日航八重山へ入り、夕食はバスで移動して近くの『舟蔵の里』と云う郷土料理の店へ。大変、趣のある店構えで食事中、店主より食事メニューの説明に加え、これまた男の人が三線を弾き女性が民族舞踊を踊り、皆も合わせて踊ったりと賑やかな夕食でした。

二日目は、心配していたように小雨模様となりましたが、この日はいいよ『三島巡り』。まず石垣港へ。そこには島の英雄『具志堅用高』さんの立像がお出迎え!まずは西表島の大原港へ。悪天候の為、船が揺れ、私にはアクシデントが(苦笑)。大原港で仲間川ボート乗り場へ移動し仲間川マングローブクルーズ船に乗船し川と海が橋で分れるという橋をくぐり、マンダロープが生い茂げる中を船中より見て回るクルーズは異次元の世界で貴重な生物(珍しい鳥やイリオモテヤマネコ等の貴重な自然の宝庫の島)が生息するという事も思わず納得!と云うほどの素晴らしい景色でした。再び仲間川ボート乗り場に戻り周囲一三〇KMの西表島より美原から周囲二二・五KMの由布島へ。対岸の由布島へは遠浅の海を水牛車に揺られながら、のんびり渡ります。園内はハイビスカス約

三〇種類、亜熱帯植物一〇〇種類以上が、年間通して楽しめる、中でも真平に折り重なる葉のように立っているスオウの木は、とても珍しく見物しました。昼食はこの由布島のレストランで頂き、又水牛車に乗り海を渡り人口三六八人、水牛四三頭の島を後に三原へ戻りましたが、又々水牛車の牛使いの方が三線で竹富島に伝わる古謡『安里屋ユンタ』を弾き語り唄って下さいました。美原から大原港へと戻り最後の竹富島へ。周囲六・三KMのサンゴ礁に囲まれた小さな島で人口は四千人弱、道には白砂が敷きつめられていましたが、これは塩を含み草が生えないそうです。石垣はサンゴ石灰岩を積み上げ、

これまた台風が多い南の島では石灰岩の間を風が通りぬけ丈夫な塀となるそうです。その小さな島を水牛車に乗り込み、町並み観光しましたが狭い道を大きな牛が、大きな牛車を引く様には、その牛の運転技術に感心しました。この三島めぐりは、バスの運転手さんが、水牛車の運転に、ガイドと一緒に引き受け、島はサトウキビの農業と観光で成り立っている



る事を痛感しましたが、素晴らしい『おもてなし』でした。

二日目の予定が終わりホテルへ帰着。夕食を済ませたらホールでミニコンサートが有ると聞いて行きました。素敵な歌声の石垣の美人歌手さんが『涙そうそう』に始まり、沖繩の唄を数曲歌って下さり、会場が一つに盛り上がり三島めぐりの夜は終了しました。

旅行最後の日は、石垣から沖繩本島に戻り、首里城見学へ。約五百年にわたり琉球王国の城としてあり続けた琉球王国の栄華を誇る首里城の守礼門をくぐり、正殿内へ。奥書院や御差床(うざすか)国王の玉座)など、どこを見てもきらびやかで素晴らしい、遠く古に思いを馳せる様な場所でした。

お昼は、がらりと様を変え、沖繩の繁華街・国際通りへと移動。昼食、買い物や済ませ那覇空港へ。予定の時間を少し遅れての離陸でしたが無事長崎空港へと帰り着き『銀の翼』一行は、病気も怪我も無く楽しく思い出に残るすばらしい旅を終える事が出来ました。

今回、同行の皆様方にも感謝申し上げます。

老人クラブ 3つの保険 〈掛金・補償内容〉

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者に取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

1 24時間型

〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

☛ クラブ活動中のケガの場合は、(白地) + (薄いグレー) の合計 (黒色) の保険金額が支払われます。
☛ クラブ活動中以外のケガの場合は、(薄いグレー) のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	10,000円		5,000円		3,500円	
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中以外のケガの場合
死亡保険金	170万円 217万円 387万円		85万円 109万円 194万円		45万円 91万円 136万円	
後遺障害保険金 (注1)	170万円 170万円	—	85万円 85万円	—	45万円 45万円	—
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	4,000円 2,280円 6,280円		2,000円 1,140円 3,140円		1,000円 950円 1,950円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円 1,700円 4,300円		1,300円 850円 2,150円		650円 600円 1,250円	

※「24時間型」の職種別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

ご注意

- 職種別B級に該当するおもな職種
 - ・建設作業員、自動車運転者、採鉱・採石作業員などの傷害リスクの高い職業。
 - ・上記に該当する方は、保険金額が変更になります。
 - ・詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

2 活動型

〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉

☛ クラブ活動中のケガの場合は、下表の保険金額が支払われます。
☛ クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合	活動中のケガの場合
死亡保険金	170万円	85万円	45万円
後遺障害保険金 (注1)	170万円	85万円	45万円
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,300円	650円

ご注意

クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)
 ※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。
 ※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建ては敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

3 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補償：支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号
 〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
 〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社

※この広告は「老人クラブ団体傷害保険 総合生活保険(傷害補償)」の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせください。

17-T00967 平成29年4月作成 4

長崎県老人クラブ連合会指定の宿泊施設

契約期間：平成29年6月～平成30年5月

長崎県老人クラブ連合会指定の宿泊施設です。
 単位クラブ等の旅行・研修・会議等に是非ご利用ください。
 ※詳細につきましては、直接施設へお問い合わせください。

平成29年6月1日現在

県名	指定宿泊施設名	住所	電話
長崎県	1 名湯の宿 雲仙いわき旅館	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙318	0957-73-3338
	2 雲仙温泉 有明ホテル	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙380	0957-73-3206
	3 休暇村 雲仙	〒854-0501 雲仙市小浜町諏訪の池	0957-74-9131
	4 国民宿舎 青雲荘	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙500-1	0957-73-3273
	5 伊勢屋旅館	〒854-0514 雲仙市小浜町北本町905	0957-74-2121
	新 6 小浜温泉 春陽館	〒854-0514 雲仙市小浜町北本町1680	0957-74-2161
	新 7 むつみの宿 旅館 和多屋	〒854-0514 雲仙市小浜町北本町930	0957-74-2234
	8 島原温泉 ホテル南風楼	〒855-0802 島原市弁天町2丁目7331-1	0957-62-5111
	新 9 原城温泉 真砂	〒859-2414 南島原市南有馬町丁133番	0957-85-3155
	10 東洋九十九ベイホテル	〒855-0864 島原市秩父が浦町丁3552-53	0957-62-3111
	11 シーサイド島原	〒855-0004 島原市新湊1丁目38番1	0957-64-2000
	12 雲仙 みかどホテル	〒859-1501 南島原市深江町甲5292-2	0957-72-5420
	13 しらはまビーチホテル	〒859-2502 南島原市口之津町甲字白浜2829-1	0957-86-3030
	14 Alega軍艦島	〒851-0505 長崎市野母町692-1	095-893-1133
	15 いこいの村 長崎	〒859-0125 諫早市高来町善住寺1080	0957-32-2902
	16 平戸たびら温泉 サムソンホテル	〒859-4826 平戸市田平町野田免210-6	0950-57-1110
福岡県	17 リバーサイド つるぎ荘	〒839-1405 うきは市浮羽町古川1096-1	0943-77-3181
佐賀県	18 旅館 初音荘	〒843-0304 嬉野市嬉野町岩屋川内甲340-1	0954-43-3238
	19 ホテル光陽閣	〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙730-5	0954-43-0170
熊本県	20 荒木観光ホテル	〒861-0112 熊本市植木町田底6	096-274-7201

県老連では、ホームページを開設しています。
 ご覧になりたい方は下記のアドレスにアクセスしてください。

<http://nagasakioren.sakura.ne.jp/>

編集雑感

本年4月1日現在の単位老人クラブ数及び会員数を8ページに掲載しました。会長さんをはじめ役員や会員の皆様に熱心に取り組んでいただいている会員増強運動の3年目における結果は、県老連全体として、あまり良いものではありませんでした。5年計画も残り2年、減少理由の分析や優良事例などを参考にし、それぞれの立場で頑張りましょう。時津町老連が「時津町シニアクラブ連合会」に変更されました。「老人」という名称に抵抗感がある方もおられますので、朗報になれば。

公益財団法人に移行して初めての評議員の改選で7名が交代、また、役員改選も行われ3名の理事が交代されました。退任された皆様には、本会運営にご指導いただきありがとうございました。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。(華)

光と風の輪 第46号
 平成29年7月10日発行
 発行 (公財) 長崎県
 老人クラブ連合会

長崎市茂里町3-24
 ☎095184615000
 発行人 島中英安
 編集人 本田哲朗
 印刷 株式会社岩永印刷所